

第2回美馬市都市再生整備計画事業評価委員会

議 事 録

- 日 時 令和3年3月10日（水） 午後2時00分～
○場 所 美馬市役所（北館）101・102会議室
○委 員 6人（1人代理・1人欠席）
○事 務 局 大森課長、前田課長補佐、野崎技術主任

【1. 開会】

<p>事務局 (大森課長)</p>	<p>本日は、御多忙の折りに御出席を頂きまして、誠にありがとうございます。 本日の司会を務めさせていただきます、建設課長の大森です。よろしくお願いたします。 定刻となりましたので、ただ今から「第2回美馬市都市再生整備計画事業評価委員会」の会議を開会いたします。 まず、開会に当たりまして、本日、御出席を頂いております委員の皆様を御紹介させていただきます。 なお、敬称は省略させていただきますので、御了承ください。</p> <p>近藤 明子 委員（こんどう あきこ） 渡辺公次郎 委員（わたなべ こうじろう） 片岡 久議 委員（かたおか ひさのり） 西前 清美 委員（にしまえ きよみ） 園原 義正 委員（そのはら よしまさ） 土井池弘次 委員（どいけ こうじ）</p> <p>以上、6人の皆様であります。</p> <p>なお、河野圭佑（かわの けいすけ）委員におかれましては、他の用務との都合により「上谷 敏也 様」が出席されておりますことを御報告いたします。 また、蔭山泰明（かげやま やすあき）委員におかれましては、所用により欠席される旨の御連絡を頂いておりますことを併せて御報告いたします。</p> <p>さて、本評価委員会は、美馬市都市再生整備計画事業評価委員会設置</p>
-----------------------	---

	<p>条例に基づき運営を行うこととしております。</p> <p>条例第6条第3項により「会議は、委員の半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。」と規定されております。</p> <p>本日の出席委員は、委員総数8人に対しまして、6人の御出席を頂いており、委員の過半数に達しておりますので、本会議は成立していることを御報告いたします。</p> <p>また、条例第8条の規定により、本日の会議は、公開とさせていただきます。</p> <p>なお、委員会の議事録につきましても、美馬市ホームページにて公開させていただきますので、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>それでは、まず始めに、次第2といたしまして、近藤委員長から御挨拶を頂きたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。</p>
--	--

【2. 委員長あいさつ】

近藤委員長	<p>四国大学の近藤です。</p> <p>今日は、前回活発に御議論を頂きました内容について、事務局で修正等していただいておりますので、その内容が妥当であるか否かという点について、皆様で確認していただきながら議事を進めてまいりたいと思っております。</p>
-------	---

【3. 議事】

事務局 (大森課長)	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、本日の議事に入ります。</p> <p>なお、議事の進行につきましては、条例第6条第2項によりまして近藤委員長に会議の議長をお願いしたいと思います。</p> <p>それでは近藤委員長、よろしくお願いいたします。</p>
近藤委員長	<p>それでは、議事次第に沿って進めてまいりたいと思っております。</p> <p>議事に入る前に1点事務局に確認しておきたいことがあります。本日の会議時間については何時までを予定されていますか。</p>
事務局 (大森課長)	<p>本日の会議につきましては、委員の皆様にご案内させていただきましたとおり、概ね2時間を予定させていただいております。</p> <p>遅くとも、午後4時までには終了できればと考えておりますので、御負担をおかけしますが、よろしくお願い申し上げます。</p>
近藤委員長	<p>そうしましたら、午後4時までには終了ということで、スムーズな議事の進行に御協力をお願い申し上げます。</p> <p>では、次第3の議事に入りたいと思っております。</p> <p>議事議題1の「第1回評価委員の意見」について、事務局から説明を</p>

	<p>お願いします。</p>
<p>事務局 (前田課長補佐)</p>	<p>～～ 事務局から説明 ～～</p>
<p>近藤委員長</p>	<p>ありがとうございました。 ただ今、事務局から「第1回評価委員会の意見」について御説明を頂きました。 丁寧な回答を頂きました。短い時間で沢山のデータを集めて分析していただいたことと思います。ありがとうございました。 皆様、いかがでしょうか。 片岡様からは、第1回の会議の時に事前に御意見を頂いておりましたが、その御意見も踏まえた形でまとめていただいておりますが、ぜひこれは言っておきたいということがございましたらお願いしたいと思えます。いかがでしょうか。</p>
<p>片岡委員</p>	<p>前回欠席をしたのですが、議事録を拝見して、うだつの町並みの数値目標、入込客数について議論があったと了解をしております。 数値目標については、本来、18万人くらいが妥当であったと認められるとの所見が記載されておりました。また、現行の入込者数は吉田家住宅の入場者数から推計されているとのことでした。 弊社も町並みの中に事務所がありますが、平日に歩いている人数を見ると、年間18万人程度の入れ込みが本当にあるのかと疑問があります。 あと、吉田家住宅には訪問しないが、他の施設を訪問しているお客様はいらっしゃると思います。うだつの町並みの中でも、イタリアンレストランの開業や新しい宿泊施設の開業など、新しい施設も増えていきます。その意味では、従来と比べると吉田家住宅を基準に入込客数を推計するという手法からは、少しずれている部分があると感じます。 そのあたりについて、数値目標についてどう考えればいいのか、御意見を伺えればと思います。</p>
<p>近藤委員長</p>	<p>現状にあっていないのではということと、集計の仕方として吉田家住宅で果たして良いのかという主に2点ですが、事務局いかがでしょうか。</p>
<p>事務局 (前田課長補佐)</p>	<p>事務局といたしましては、第1回の評価委員会において、片岡委員をはじめ、多くの委員の皆様から同様の御意見を頂戴いたしました。 そうした御意見等を踏まえ、今後は、所管部局であります観光課と連携を取りながら、数値目標の基礎をなすデータの取得、集計方法等につきまして、見直しを図っていきたくと考えております。 ただし、今回の事後評価につきましては、計画を定めるときに吉田家住宅の入込者数を基礎として計画書を作成している関係上、他の施設の入込客数を上積みした数値を評価値として報告することはできないも</p>

	<p>のと考えているところです。</p> <p>町並み内に事業所が増加していることを踏まえ、吉田家住宅以外の事業所の入込客数を加えた、より正確で、実状に即した数値を取得、集計できるように、官と民と連携をしながら、信頼関係を基に情報提供を相互に行える体制を観光課も含めて整備したいと考えます。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>あと、実状と乖離があるのではないかという点はいかがですか。前回の会議でも委員の皆様方から本当はもう少し多く来ているのではないか。というお話もありました。</p> <p>事務局としてはいかがお考えでしょうか。</p>
事務局 (前田課長補佐)	<p>片岡委員様がおっしゃられていましたが、町並みの入込客数については、平日の実状と乖離していると感じられるところもあるかと思えます。一方、イベント開催時には、多くの観光客や地元の方々が町並みを訪れているという実態もあります。</p> <p>いずれにしましても、実状を正確に把握できる方法の検討が、今後は必要であると考えています。</p>
近藤委員長	<p>日常とイベント時の非日常で、どういった集計の仕方ができるか、どう集計すべきかについては、今後検討していくという回答でしたが、イベントをするとこれだけ効果が現れるという点も踏まえながら、適切なデータを捉えていただければと思います。</p> <p>他に皆様いかがでしょうか。</p>
西前委員	<p>最近のニュースでは、携帯端末を使用し、このあたりに何人という数字が出ています。こうしたビッグデータを利用して人数を正確に把握する仕方はないのでしょうか。</p>
近藤委員長	<p>昨日もその件で渡辺先生とお話していたところですが、事務局としてはいかがでしょうか。</p>
事務局 (前田課長補佐)	<p>西前委員の御意見につきましては、昨日、近藤委員長と渡辺委員との事前打合せの中でも御意見として頂戴しております。</p> <p>本市では、2016年にNTTドコモから位置情報の提供を受け、うだつの町並みにどの方面から、どのくらいの人々が来られているのか分析をしている実績がございます。</p> <p>今後は、そうしたビッグデータの活用も必要であると考えていますが、データの取得、集計に係る期間や規模など、予算的な状況も勘案しながら最適な方法を検討していくことになるかと思えます。</p> <p>当面の手法としましては、町並み内の各事業所の御理解と御協力を得ながら、入込客数の調査・把握に努めることになるかと思えます。</p> <p>いずれにしましても、今後の選択肢としては、常に複数のものを用意しながら、費用対効果が最大限発揮できる方法を選択していくという方向で進んでいくのではないかと考えます。</p>

近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>ビックデータの活用には、予算的な側面からの検討が必要であることを踏まえ、費用対効果を基本に検討していくとの説明を頂きました。</p> <p>もちろん、実状をより正確に捉える方法が他にもあるかもしれませんので、その点も含めて比較検討を頂ければと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
上谷さん	<p>観光ビューローの上谷です。</p> <p>観光ビューローでは、町並み内の事業所との連携を図っていますが、そうした「つながり」の中で、月の入込客数について提供を頂けるようになりました。</p> <p>また、コロナ渦ではありますが、観光目的では来ないものの、SNS等を見て、喫茶店に珈琲を飲み、あるいは食事に来られたりする人もいらっしゃいます。</p> <p>コロナが落ち着いた段階で、観光課と相談をし、ビックデータの活用を含めて、観光ビューローも共通認識の下で、今後進めていきたいと考えているところです。</p>
近藤委員長	<p>追加の御説明を頂き、心強いです。</p> <p>積極的に取り組んでいくと決意表明も踏まえたお話であったかと思えます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
園原委員	<p>数値目標の設定や集客者数については、市の各所管課で個別に把握し、情報を集計しているということですが、美馬市全体として、オール美馬で情報や手法を共有する。また、目標値の設定や検証に当たっては、各部門の担当者が集まり、プロジェクト等を結成し、オール美馬で取り組んでいただければ、よりの確な検証につながるかと思えます。</p> <p>加えて、その地域に特化したイベント等を開催すれば、その分、入込客数も増えることは明らかなので、年間計画の中で、その活動をどの部局が担い、どう連携していくのかということをしっかり積み上げて目標等を設定すれば良いと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今後の集計方法やまちづくり全体を踏まえた御提案を頂きました。</p> <p>御質問というより御提案という位置付けになりますが、事務局から何かございますか。</p>
事務局 (前田課長補佐)	<p>ただ今、頂戴しました御意見・御提案を踏まえまして、組織横断的な行政運営、事業推進について、しっかり取り組んでまいりたいと思えます。ありがとうございました。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
土井池委員	<p>評価委員会の意見として、地域交流ミライズの料金体系の検討について</p>

	<p>て、所管課に照会していただいたということですが、具体的にいつまでに検討がなされるのかというところが曖昧なように思います。今後、担当部局を中心にアプローチしていただければと思います。</p> <p>もう1点は、うだつの町並みでは、これまでも空き家や古民家の再生が取り組まれ、景観が改善されております。テレビで報道されていましたが、他県から移住をしてきた方が空き家を「尊い貴重品」として、再利用・改築し、喫茶店や食堂を経営し、地域に貢献しているとのことでした。今後は、そうした視点も考えられるのではないかと思います。</p>
片岡委員	<p>うだつの町並みは、85棟のうち4割程度が空き家であると推測しています。特に、所有者の方が市外・県外にお住まいで、お子様も東京や大阪にいらっしゃる場合もみられます。何より「相続」という概念、感覚が希薄であるが故に、利活用之際して、支障となることも多く、時代の潮流に乗り切れていない状況を生んでいるように思います。</p> <p>それに対して、MIMA チャレンジでは、空き家の担い手になっていただける方と所有者を繋ぐことで、空き家の利活用を図ろうということで、2018年から取り組みをはじめ、現在のイタリアンレストラン、宿泊施設のオープンに至りました。もちろん、町並みには、生活の場としての側面もありますので、そうした生活の場としての雰囲気、生活感からもヒントを得つつ、生活にも配慮して、夜間の喧騒を避ける仕組みなど、住民の方に迷惑がかからないように利活用を図っていくというところで、ある程度の規制も必要だと考えています。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>実際に空き家を使用されている中で、お感じになられたことを踏まえての御意見を頂きました。</p> <p>事務局としては、いかがですか。現状と現状を踏まえた御提案をお教えたいただけたのではないかと思います。いかがでしょうか。</p>
事務局 (前田課長補佐)	<p>空き家が多くなってきていることについては、同様の認識をしております。</p> <p>第2期計画の中で、観光交流センターという施設整備に携わった際には、建物の所有者は大阪にお住まいの方で、年に数回帰省されているとのことでした。</p> <p>片岡委員が実際に実践されておられるように、オーナー様と担い手とを繋いでいく手法は必要であり、相互にメリットがあると、改めて実感しているところでございます。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>全国的に空き家は大きな問題となっており、国が制度を整備しないといけない部分も多くあると思います。特に、相続という面では、相続手続きがなされていないために所有権を有している人が多岐にわたるといふこともありますから、国が制度として整備するところだと思いま</p>

	<p>す。</p> <p>先ほど事務局から説明がありましたように、マッチングのサポートは行政の役割だと思います。そのあたりを官と民で共同して取り組む必要があると感じております。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
片岡委員	<p>1点補足してもよろしいでしょうか。</p> <p>空き家の活用に際しては、開業しようとする人に対して支援、例えば古民家を改修する費用について、市の機関や行政が連携して、資金提供を頂ければと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>前向きに御検討して頂ければと思います。</p>
上谷さん	<p>3年ほど前、市の施設で「はなれや」という建物があり、その1階をホテルのフロントにして、町並み内の各空き家ひとつひとつが「うだつの町並みホテル」の部屋として活用するイメージで取り組んだことがあります。先ほど、片岡委員がおっしゃられていましたが、空き家に観光客を誘致することについては、地元の人との調整が必要だと実感しています。</p> <p>そうした中、森様が所有されている建物について、今年4月から一般の観覧が可能となります。中には、昭和初期当時のテレビや医療器具など、当時の様子をうかがい知ることができます。</p> <p>人を呼び込み、ただ通り過ぎるのではなく、10分でも20分でも立ち止まってもらうところをつくりたいと考えています。今後は、伝統工芸である和傘を常時展示できる場所の準備をはじめ、お客様に立ち止まって見ていただける場所と時間を提供できるよう行政と共に取り組んでまいりたいと考えています。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>丹波篠山のまちづくりにもそういった事例もありますので、そっくりそのまま適用すると味がなくなりますので、美馬市らしさ、うだつらしさというところを活かしながら進められることと思います。</p> <p>他にいかがでしょうか。</p>
西前委員	<p>年間のミライズの利用率を示していただきましたが、利用率の低いところ、一定の利用が図られているところがあります。</p> <p>土井池委員がおっしゃられていましたが、利用料を無料にすれば、利用率は向上します。もちろん、何年ものというわけにはいかないと思いますので、例えば、5年間に限って実験的にやってみてはどうかと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>御提案を頂きましたけれどもいかがでしょうか。</p>
事務局	<p>ただ今の西前委員の御意見・御提案につきましては、土井池委員の御</p>

(前田課長補佐)	意見・御提案と併せまして、担当課の方に申し伝えたいと思います。
近藤委員長	ありがとうございます。 利用率が高い施設もあれば、低い施設もある。これらについて、どう改善していくか、市民目線で考えていただければと思います。 他にいかがでしょうか。
園原委員	地域交流拠点施設（ミライズ）の収支は分かりますか。
近藤委員長	B/Cはどれくらいということですね。 年間の収益といますか。
事務局 (前田課長補佐)	申し訳ございません。 御質問を頂きました内容につきましては、当課では把握しておりません。
近藤委員長	西前委員、園原委員から御質問のありました利用率や収支につきましても、この機会をきっかけに分析、検証をされ、今後の利活用の方策につなげていただければと思います。
土井池委員	うだつの町並みにおいて、市の伝統工芸であります和傘や竹人形を大々的に展示し、紹介するのも、一つの方法かと思えます。
近藤委員長	ありがとうございました。 観光活性化にむけた御提案を頂きましたけれども、事務局としまして、何かコメント等がありますでしょうか。
上谷さん	現在、和傘については、町並み内の資料館にて展示しております。先ほども申しましたが、今後、常設展示できる場所等を準備したいと思います。
近藤委員長	ありがとうございました。 そのほか、いかがでしょうか。よろしいでしょうか。 ～～ ※意見等なし～～ 皆様からは、今後のまちづくりにつながる御提案を頂きました。 事務局には、関係部局と共有していただき、今後のまちづくりに活かしていただきたいと思います。 次に、議題2の「評価手続きの修正」について事務局から説明をお願いします。
事務局 (前田課長補佐)	～～ 事務局から説明 ～～
近藤委員長	ありがとうございました。 ただ今、事務局から「事後評価手続きの修正」としまして、前回の評価委員会におきまして意見を具申していた事項を踏まえた「成果の評価」と、「効果発現要因の整理」に関する修正案について説明がありま

した。

これらの修正案につきまして、委員の皆様から御意見・御質問等はいかがでしょうか。

その前に1点確認しておきますが、事務局の説明の中で、数値目標に対する結果に当たる評価値については、令和元年度の数値又は平成30年度の数値のいずれを用いても差し支えない旨について、県から連絡があったとの報告がありました。

つまり、現在の評価値である令和元年度の169,260人という数値で議論をしていくのか、もしくはコロナの影響を受けていない平成30年度の190,699人という数値をもって議論していくのか、ということになりますが、どちらがよろしいでしょうか。

委員の皆様から御意見を頂きたいと思います。

いかがでしょうか。

令和元年度の数値をもってしても、平成30年度の数値をもってしても、数値目標である234,000人は及びません。仮に、数値目標を設定した際の近似直線をベースにした場合、平成30年度には約220,000人程度の数値を示しておく必要があることから、乖離を生じてしまいます。

どちらを用いるか御意見をお願いします。

いかがでしょうか。

これまでどおり、令和元年度の数値を用いて、審議を進め、報告することによってよろしいでしょうか。

～～ ※異議等なし ～～

ありがとうございます。

そうしましたら、事務局の対応としましては、これまでどおりということで、令和元年度の169,260人で報告書に掲載していただけたらと思います。

他に御意見いかがでしょうか。

「○」、「△」という成果の評価をはじめ、効果発現要因について、丁寧に整理していただいております。また、事業所数と古民家再生軒数については再集計した結果を踏まえて、数値の変更について説明がありましたが、いかがでしょうか。

特にはありませんか。

そうしましたら、御意見・御質問はないということによってよろしいでしょうか。

～～ ※意見等なし～～

	<p>ありがとうございます。</p> <p>御意見・御質問はないようですので、事務局の修正案について、評価委員会としては妥当と評価してもよろしいでしょうか。</p> <p>～～ ※異議等なし ～～</p> <p>そうしましたら、皆様に御了解を頂きましたので、議題3の「今後のまちづくり方策の修正」につきまして事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (前田課長補佐)	<p>～～ 事務局から説明 ～～</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>今後のまちづくり方策の修正につきまして、前回評価委員会で意見を具申しておりました事項を踏まえた「効果を持続するために行う方策」と「改善策」に関する修正案について説明がありました。</p> <p>委員の皆様からは、御意見・御質問はございませんでしょうか。</p>
土井池委員	<p>テレビのニュースで聞いたのですが、徳島県における県外からの宿泊者数が最下位を脱出したと報じられていました。非常に喜ばしいことですが、美馬市の中に限って言いますと、通過点の1つであることに変わりがないように思います。徳島市や鳴門市と三好市(祖谷)を結ぶ直線状の通過点になってしまっており、なかなか宿泊には至っていないのではないのでしょうか。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>観光客の数ではなくて、宿泊しているかどうか、通過されているのかといった点につきまして、データをお持ちでしたら、事務局としてのお考えや今後の取組の方針などについて、お願いします。</p>
事務局 (前田課長補佐)	<p>美馬市内における宿泊者数につきましては、現時点で、御回答できるデータは有しておりませんので、この後、関係課に照会させていただければと思います。</p> <p>今後の取り組み等につきましては、修正案の中でも御説明させていただきましたが、「宿泊」というコンテンツをどのように見せていくのか、どこに魅力を伝えていくか。を基本に、情報を発信することができるかが鍵となると考えています。そうした意味において、SNSやソーシャルメディアといった、トレンドとなっているツールを最大限に活用して、沢山の情報をその時々で最新の方法によって、複数の発信をしていく必要があると考えておまして、そのことが、今後の宿泊者数や来訪者数の増加につながっていくと考えています。</p>
土井池委員	<p>ぜひ、誰もが利用しやすい料金体系についても、検討していただけたらと思います。</p>

近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>様々な視点から、今後のまちづくりについて御提案を頂きました。</p> <p>他に、いかがでしょうか。</p>
渡辺委員	<p>先程、事務局が説明された「ソーシャルメディアの情報をどうやって発信していくか」というところで、ソーシャルメディアから明らかになる美馬市に興味がある人の特徴や、何に興味を抱いて来訪するのかという目的などを丁寧と分析した上で、それをベースに色んなところにマーケティングしていく、そういう方法がこれから大事だと思います。</p> <p>個人旅行が増えているということは、それぞれの価値観が違うわけなので、今までは1つのパッケージとして観光地はこういうものだとされていたことが、多種多様に変化せざるを得なくなっている。</p> <p>人はそれぞれ違って、特に海外の方は日本の伝統的な生活スタイルをはじめ何に興味を示しているのかなど、多様なパターンに合わせてうだつの町並みをプロモーションしていく方針が重要だと考えます。</p> <p>あと、資料2の9ページにあるその他特記事項で「モバイル空間統計」という記載がありますが、これは商品名ですので、違う名称に変えられたほうが良いと思います。こうした「ビックデータ」を解析し、特徴を分析することは大事だと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>観光については多様な価値観に対応した動きをしなければならないという御提案と資料2の9ページの「モバイル空間統計」という商品名を別の適切な表現に替えてくださいとのアドバイスでした。</p> <p>他に、いかがでしょうか。</p>
片岡委員	<p>先程の滞在時間についてですが、祖谷から徳島までの間で15分くらいうだつの町並みを観光するというのが現状だと思います。</p> <p>滞在時間を増やすことは、何より重要です。そのためには、法人として宿泊施設を増やすことが必要だと思っています。そうすると美馬市で1泊しなければならないので、観光客の滞在時間も増えるし、観光消費額も増えることになります。</p> <p>町並みやその周辺に宿泊施設を増やすことが必要だと思っています。</p> <p>現状の人通りを見ていますと、多くの方が町並みの観光説明看板を見ますが、歩きながら15分くらいで見えています。そこには、町並みには、開いていない家（空き家）が多いという理由があります。和傘の展示施設や森邸の建物を開放するとのお話もありましたが、何か全体として町並みが開いている雰囲気を作ることができれば、その中を見てみようというお客様も増えて、滞在時間及び消費額も増えると思います。</p> <p>改めまして、空き家の改修は必要だと感じております。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p> <p>観光消費額を増やすためには宿泊施設を増やす必要があるというこ</p>

	<p>とと、開いている家に興味をもつような展開にしていくことの必要性について御意見を頂きました。そして、そのためには、空き家を改修し、利用を促進していく必要があるという御提案を頂きました。</p> <p>その他は、いかがでしょうか。</p>
西前委員	<p>行政と観光ビューロー、事業者、そして地域の方々との連携、意思疎通を十分に図っていただき、信頼関係を築き、密接な関係を造り上げてほしいと思います</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。</p> <p>昔だと、私たちは行政に対してこうしてほしいとお願いしていたような時期もあったかもしれませんが、今は多様な主体があり、しっかりとした連携をしなければ進んでいけないという御意見でした。</p> <p>他には、いかがでしょうか。</p>
渡辺委員	<p>空き家の改修や利活用については、人を呼び込むための1つの資産・資源になるということはもちろんですし、町並みの効果的な価値を高めるためにも意義があることだと思います。</p> <p>それに加えて、もう1つには「防災」という側面があります。木造で廃墟となると、火災時には道を塞ぐことにより避難の支障になります。</p> <p>例えば、津波がくる沿岸の町、木造の市街地や漁師町が残っているところでは、防災対策として、改修し、あるいは反対に除去するところがあります。</p> <p>観光ではありますが、防災にも関係性があるということです。つまり、まちづくりにおいては、色々なことが多角的につながっていくということを理解しておく必要があります。いくつかの部局をつなぐことで、そのまちづくりが効果的に機能を発揮することになります。</p> <p>あと、地域交流拠点施設（ミライズ）の利用料金については、無料になれば利用者にとっては最も良いかもしれませんが、維持管理をしたり、修繕したりと、今後もお金を必要とすることはたくさんあります。</p> <p>ミライズなどの公共施設を無料にすれば、当然そこに人がやって来ます。そして、人がやって来ると、ミライズで用事を済ませてそのまま家に帰る人がいる一方で、何かしらのもう1つ別の活動が生まれるということもあります。</p> <p>特に海外の公共交通に見受けられるのですが、街の中心部で電車やバスに乗るようにすると、街に人が出やすくなる、それによって消費が増える。要するに、色々な施設をもっと使いやすくすることで地域全体の便益が上がる、幸せになることが、巡り巡って本来の目的である地域の交流が図れるようになるということです。ですから、もう少し視点を広げて「まちづくり」という視点で、それぞれの施設の運営や維持管理などを考えていくべきではないかと思います。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございました。</p>

空き家の活用は、地域の活性化だけでなく、防災面についても「除却」という選択肢も含めて検討しなければならないという御提案と、もう1つは、例えばどこかの施設を無料にすることで、そこから得られる収入はないものの、全体を見たときに派生的な活動が活発になって町の活性化がプラス、便益もプラスになることもあるのではないかと、そうした広い視点で見ていきたいと思いますという御提案でした。

他に、いかがでしょうか。

～～ ※意見等なし～～

今後のまちづくり方策の修正に関しましてたくさんの御意見をいただきました。

まとめさせていただきます。

まず、観光につきましては、宿泊者数を増やしていき、観光の量だけでなく質についても考える必要があること。また、通過交通にならないためには、宿泊施設を増やすことに加えて、「開いている家」を増やし、それらを周遊できるような仕組みづくりが必要であることについて、御提案を頂きました。

加えて、多様化する価値観に対応したアプローチをしていかないといけないことや、空き家の改修、利活用については観光消費額の増加という面に加えて、プラス防災面においても有益であることについて、御意見を頂きました。

さらには、1つの施設の料金体系を見直すことによって派生的な活動が生じて、全体から見た便益も向上するのではないかと御提案も頂きました。

そして、こうしたことを実践していくに当たっては、何があっても官民連携が重要であり、前提条件になるとの御提案であったように思います。

また、事務局に修正をお願いする事項としましては、資料2の9ページの「モバイル空間統計」という言葉を、例えば「ビックデータ」にするなど、適切な言葉に変更していただければと思います。

委員の皆様からたくさんの御意見等を頂きました。

委員会から美馬市に対する意見として整理させていただきますので、事務局については、適切な対応をお願いします。

委員の皆様、こうした扱いでよろしいでしょうか。

～～ ※異議等なし～～

ありがとうございます。

この他に御意見等はございませんでしょうか。

	<p>～～ ※意見等なし～～</p> <p>ありがとうございます。 そうしましたら、これで全ての議題が終わりました。 最後に、これまで2回の審議を通じて、脇町地区（第3期）都市再生整備計画に関する事後評価シートに記載された評価の内容について、本日の評価委員会で必要な修正を加えていただくことにより、この事後評価の妥当性について、評価委員会としてお認めするということが皆様よろしいでしょうか。</p> <p>～～ ※異議等なし～～</p> <p>ありがとうございます。 今回は、この委員会の中で議論して参りましたけれども、この内容をしっかりと市民の方々にも理解していただいて、今後のまちづくりに活かしていくということも必要だと思います。 そういったことを御説明していただく、説明責任プラスまちづくりの活性化、まちづくりに取り組んでいただく姿勢にもつながるものと思いますので、丁寧な説明をお願いしたいと思います。 そうしましたら、本日予定しておりました議事の全てが終了となります。本日の議事以外でも結構ですが、委員の皆様からの御意見や言い残されたことはございませんでしょうか。 片岡様もよろしいでしょうか。</p>
片岡委員	<p>特にないです。 大丈夫です。</p>
近藤委員長	<p>ありがとうございます。 ほかに、皆様よろしいでしょうか。</p> <p>～～ ※意見等なし～～</p> <p>そうしましたら、本当にたくさんの貴重な御意見・御提案をいただきありがとうございました。事務局の中だけで留めることなく、市民全員に伝わるように是非とも情報発信を踏まえた説明をお願いしたいと思います。 それでは、司会を事務局にお返ししたいと思います。</p>
事務局 (大森課長)	<p>ありがとうございました。 近藤委員長をはじめ、委員の皆様におかれましては長時間にわたり、御審議を頂きまして誠にありがとうございました。</p>

	<p>本市といたしましても本評価委員会において委員の皆様から頂戴しました御意見等を踏まえまして、なお一層市民の皆様への説明責任を果たし、事業推進に努めてまいります。</p> <p>また、令和4年度には、美馬地区におきまして都市再生整備計画事業の事後評価を行うこととなっておりますので、引き続き、御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。</p>
--	---

【4. その他】

<p>事務局 (大森課長)</p>	<p>それでは次第4の「その他」についてですが、本日の会の議事以外のことも含めて、御自由に御意見を頂ければと思いますが、何かございますでしょうか。</p> <p>～～ ※意見等なし～～</p> <p>御意見等はありませんか。</p> <p>それでは、以上もちまして本日の議事日程は全て終了いたしました。</p> <p>これをもちまして、第2回美馬市都市再生計画事業評価委員会の会議を閉会させていただきます。</p> <p>本当にありがとうございました。</p>
-----------------------	--